



横浜市立一本松小学校

学校だより

7月号

令和4年6月30日
横浜市立一本松小学校
校長 高桑 透

子どもたちのために、大人たちの力を

校長 高桑 透

先週末より、とても暑い日が続いています。今週月曜日には早々に梅雨明けが発表されました。また、今週から水泳学習が始まりました。3年生以下は小学校では初めて、4年生以上も3年ぶりとなります。まずは、安全に学習するためのルール確認から丁寧に指導し、楽しく水泳学習を進めていけるようにします。また、週末には、一本まつりが行われます。昨年、一昨年と中止していましたが、子どもたちがとても楽しみにしている行事であり、また学校としても大事にしている行事でもあります。今までとは大きく形が変わっていますが、子どもたちにとって思い出に残る1日になってくれたらと思います。

今週28日(火)に、スクールゾーン対策協議会が行われました。学区の安全について、PTA 会長が中心となり、PTA 本部役員や地区委員の皆様、自治会長様、区役所、土木事務所、警察、学校が話し合う場です。地区委員の皆様が中心となり、危険な場所をピックアップして実際に足を運び確認します。写真や地図を用意し、改善案を出します。道路標示の補修であれば土木事務所、交通規制などについては警察、地域のことについては自治会長様など、それぞれの立場でご意見を伺いながら活発な討議がなされました。全てが子どもたちの安全のため、そして地域の安全のためのものです。また、ドライバー目線での危険箇所などについても意見が出されたり、警察から地域住民としてのご意見を伺ったりする場面もありました。



このように、安全のために環境を改善していくことは大切ですが、何よりも大切なのは、子どもたちや大人たちが交通ルールを守るということです。信号を守ること、一時停止をすること、横断歩道を渡ることなど、歩行者としてもドライバーとしても、しっかり意識することが事故を防ぐことにもつながります。学校でも引き続き安全教育をすすめていきますが、ご家庭でも交通ルールを守る、自分の命、他人の命を守るという視点で、ぜひ子どもたちと話をしてください。

「スクールゾーン対策協議会」や「一本松共育倶楽部」、週末行われる一本まつりのための「一本まつり大人実行委員会」のように、たくさんの大人たちが子どもたちのために活動してくださっています。その中で、学校の教育活動についてご意見などをいただく「まちとともに歩む学校づくり懇話会」を、さらに発展させたものとして、「学校運営協議会」を7月1日に設立します。学校教育目標を共にし、教育の当事者となっていただき、一緒に学校運営に参画していただきます。「チーム一本松」の一つとして、大きな力をお貸しいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。